

## 12月17日（土）第4回 「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは、「**自然を愛する農家から歌声を**」・・・いろいろな活動に参加しながら、人とつながり、マイライフを楽しむには・・・と題して、アコーディオン演奏者の「**山下貞則さん**」をお迎えして、お話ししていただきました。

**山下さんは**、昭和13年生まれ（**78歳**）です。中学校で**音楽の先生**を25年、養護学校に14年勤務されて、**退職**。その後、お姉さんに頼まれて、福祉施設で**アコーディオンを披露したことがきっかけ**でボランティア活動を始めたそうです。**現在は、農家の傍ら**に青森県キャンプ協会西津軽理事長、津軽ねぶた、岩木山登山ばやし愛好会員、フォークダンス土曜会運営委員、柘形防犯連絡員と、**多種多様に活躍**されていて、おじちやまコーラス指揮団員だったこともあったそうです。

山下さんは、**晴遊(晴れた日は遊ぶ)**と言う言葉を大事にしているそうです。

**平成21年から、宮川交流センターでアコーディオン「山下貞則&ゆかいな仲間」として活動**を始めて、最初の参加人数は少なかったが、現在は20人以上の参加者になることもあると話している。

**平成25年9月21日(土)には、東日本大震災被災地の野田村でのボランティア活動に参加し、野田村のみなさんにアコーディオンを手にして歌声を届けてくださいました。**

**山下さんは、お話が少し苦手**なようで、**早くアコーディオンを引きたい**ようなそぶりが感じられたので、時々演奏をはさみながら、トークを交えてアットホームな雰囲気が進みました。

また、山下さんは、小柄ですが、**メガネを掛けて、アコーディオンを手にしたら、表情が生き生き**してきて**大きく見えました**。元、音楽の先生だった面影もあって、**参加者一人一人の名前を顔を覚えよう**としてくれて、歌い方の指導も上手で、何となく**学校の先生に音楽の授業を教わっているかのような気持ち**になりました。最後には、**山下さん作詞作曲の歌を披露**していただき、参加者は楽しく過ごすことができました。ただ、**参加者が少なかったことが、とても残念**でした。

**参加者からは～「今日は懐かしい歌を歌うことができて楽しかったです。もっと大人数だったら良かったの」と思いました。」「山下さん他の参加者のボランティアのお話がとても面白かったです。」**などの感想をいただきました。

「**ほっと・ぼらんていあ**」は、みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるように、これからも2か月に1回程開催予定です。**次回は、3月4日(土)13:30～15:30**まで、**ゲストは津軽かたいべの会会長の菊地菊代さん**をお迎えしてお話ししていただきます。詳細に関しては、ボランティア支援センターのHPや広報、新聞等で確認していただければ助かります。ボランティアに興味のある方に限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。